

議員と気軽に語る会 実施報告書⑧

開催日時	令和6年6月21日(金) 19時30分~20時45分
開催場所	かみ総合福祉センター
対象集落	丹治・大袋・三谷・箸荷・門村・杉原・奥豊部・観音寺
参加者数	8人
出席議員	班長(廣畑幸子) 司会(足立吉継) 記録(笹倉政芳) (清水俊博)(門脇教蔵)(藤原清勝)(市位裕文) (内橋志郎)(日原茂樹)
意見発表	(内橋志郎)(廣畑幸子)
意見まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・「開かれた議会」とよく言われるが具体的にわかりやすい説明がほしい。 ・議員定数削減の賛否が7:6で否決したが仕組みられたものか。 ・立候補者が14人かつかつであるので1~2人減らしては。 ・集落の組織や団体が多くあるが維持していけるか不安である。 ・近年は個人個人が個人の事しか考えない風潮が大きな課題。 ・集会やイベントに参加する人はいつも同じ。切り口を工夫して今まで参加してない人にも配慮することが必要。 ・コロナ禍の影響で今までの生活が一転した。地域の村芝居やお祭りができなくなってしまった。やめるのは簡単だが続けていくことは難しい。 ・集落の運営について行事・団体や文化の継承についてのアンケートを取りみんながやりやすい取り組みを進めている。 ・この会議のことを知らない人も多い。自分も声をかけてもらったから来られたが。 ・開始時間が行きにくい時間では。開催時間などもう少し考えては。 ・あまり興味が無いのでは。 ・交通の便が悪い。高齢者の一人家庭など、病院にも買い物にも行きにくくなり困っている。免許返納後の不安がある。 ・うちの子どもは社高校へ通っているが、とても不便。 ・物価も高いので、ガソリン代などを考えて、仕事場の近くに住もうとする。 ・町営住宅に空きが多いのに入れない人がある。若い世代の人で所得要件が合わず町外に出てしまった。また高齢者夫婦が町内に家を建てる間借りたと思ったが年齢要件で引っかかり断られた。もっと柔軟に対処できないか。若い人が出て行くのはもったいない。 ・町から来た人が町営住宅に入りたくても入れなくて困っている。結果出

て行ってしまう。

・中学校の跡地活用は？篠山では跡地を改良してキャンプ場を作って、学校関係が使っている。壁をぶち抜いて使い勝手の良い形にしている。青垣では旧神楽小学校を FOREST DOOR 神楽として子どもの遊ぶ施設になっている。

・加美中を統合中学校にしたら良いのに。松井小と杉原谷小を統合するのなら加美中を使ったら良いのに。

・地域に学校がなくなると子どもの姿も見られなくなる。

・何でも中区へという考え方はどうか。

・若い人は住みにくければ出て行く。加西市は水のない所だが、工業団地があるので人が増えている。

・小野の会社は賃金も都会並みに高いし学校も多い。

・地元で働くところが少ないので、卒業後帰っておいでと言ってもどこで仕事をするのという話になる。親も帰ってこいとは言いつらい状況。

・友だちに二人目の子ども作らないのと聞くと、子どもが二人になるとやっていけないという答が返ってくる。

・今は子育てにお金がかかりすぎる。

・高齢者に負担をかけない町にして。

令和6年6月26日

多可町議会議長 日原茂樹 様

報告者 笹倉政芳